

# 滝小だより



2026年(令和8年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば：「よく考える子」

○こころ：「思いやりのある子」

○こうどう：「ねばり強い子」



## 子どもの言葉を心の架け橋に

節分が過ぎ、暦の上では春を迎えました。しかし、実際にはまだ身を切るような寒さが続いております。朝晩の冷え込みに、春の訪れが待ち遠しく感じられる今日この頃です。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごし

でしょうか。さて、先日の学校をよくするためのアンケートでは、「子どもから学校の様子を聞いている」という項目でほぼ9割の方が肯定的な評価をしていました。ご家庭でお子さんは学校での出来事をどのようにお話されているのでしょうか。「今日、こんなことがあったよ」という何気ない報告は、親子の絆を深める大切な時間です。今回は、お子さんの話の受け止め方や、情報との向き合い方について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

### ○ まずは「心の安全基地」として受け止める

お子さんの話を「そうなんだね」とそのまま受け止めることは、子どもにとって大きな安心感につながります。たとえそれが子ども自身の主観に基づいたお話であっても、まずはその時の「うれしかった」「悲しかった」という気持ちを丸ごと受け止めてあげてください。大好きな大人に聞いてもらえるという実感が、自己肯定感や信頼関係を育む土台となります。

### ○ 一歩引いて、多角的に見守る

一方で、成長の過程にある子どもたちは、自分の視点から見えた世界を精一杯伝えてくれます。そのため、時には状況の一部であったり、主観が強く反映されていたりすることもあります。そんな時、私たち大人は少しだけ冷静に、全体像を見守る姿勢を大切にしたいものです。例えばトラブルの話があった際も、「そういう風に感じたんだね」と共感しつつ、「別の角度からはどう見えたかな？」と一緒に整理してみると、お子さん自身も物事を多面的に捉える力を少しずつ養っていくことができます。



### ○ 確かな情報を大切にする姿勢を

現代社会では様々な情報や噂話が耳に入ってくることもあります。不確かな情報に惑わされず、落ち着いて事実を確認しようとする大人の姿は、子どもたちにとっての良きお手本となります。「誰かが言っていたから」ではなく、「自分の目で確かめ、考える」という姿勢を、学校と家庭が連携して育てていければと考えています。

### ○ 具体的なケース：お子さんが「学校で嫌なことがあった」と訴えたとき

時には、お子さんが「嫌なことがあったから学校に行きたくない」と口にすることもあるかもしれません。そんな時は、まずはその不安な気持ちを否定せずに受け止めてあげてください。ただし、子どもは自分の感情を中心に状況を捉えるため、無意識に自分に有利な伝え方をしたり、相手側の事情が見えにくくなったりすることもあります。不安を受け止めつつも、まずは「一つの視点」として冷静に状況を見守っていただければと思います。お子さんが次の一歩を踏み出せるよう優しく背中を押しつつ、気になることがあれば、どうぞ小さなことでも遠慮なく学校にご相談ください。「行きたくない」の裏側にある小さな気がかりを一緒に解消していくことが、お子さんの心の成長にもつながります。



日々の何気ない対話の中に、お子さんが健やかに成長するためのヒントがたくさん詰まっています。学校でも一人ひとりの言葉に丁寧に向き合っています。学校とご家庭で手を取り合い、お子さんの歩みを支えていきましょう。

## お知らせとお願い

### ◆添付の「おおだこ通信」について

毎月の学校だよりに合わせ、今月も「おおだこ通信」を添付いたしました。すでにご覧いただけましたでしょうか。今月号で取り上げられている内容は、規模の大小を問わず、本校でも実際に起こっている事柄です。これらは決して「単なるいたずら」では済まされず、重大な事故や事件に発展する恐れがあるものです。つきましては、今一度ご家庭で、特に以下の点について話し合ってみてください。



#### 「他人の権利」と「ルール」を尊重する

他人の敷地への侵入や、友達の物を隠す・盗むといった行為について「少しだけなら」「バレなければ」という甘い考えが、法律に触れるような大きなトラブルに繋がることを伝えてください。

#### 「物」を大切に作る心（器物損壊の防止）

公共の物や他人の物を大切に扱うことは、社会生活の基本です。

#### 「思いやり」の心を育てる

暴力や言葉で人を傷つける行為については、相手の心身に消えない傷を負わせることを理解させ、言葉で解決する力や、相手の立場に立つ想像力を育みましょう。

もし、お子さんが上記のようなことをしていたら、大切なのは、頭ごなしに叱ることではありません。「なぜそれがいけないのか」「それをしたら誰が悲しむのか」を、お子様の目線に立って根気よく伝えていくことが、お子様の「自律心」を育てます。ご家庭での何気ない会話が、お子様が正しい道を選ぶための「心のブレーキ」になります。ぜひ、この機会に話し合ってみてください。

### ◆担任の交代等について

3年3組教諭が出産のための休暇に入ったことに伴い、後任が担任として職務にあたります。

### ◆藤沢市教育委員会からのお知らせ

藤沢市教育委員会では、令和8年4月から見守り端末による「子ども見守りサービス」をスタートします。詳細は2月9日に「すぐーる」で配信を予定しております。なお、次のQRコードから説明動画を見ることも可能です。ご興味のある方はご確認ください。



#### 3月の主な行事(変更することもあります)

3日(火)6年4時間授業 4日(水)4時間授業 5日(木)6年4時間授業 6日(金)6年滝の沢中学校見学  
10日(火)4時間授業 11日(水)委員会活動 12日(木)・13日(金)1~5年4時間授業  
17日(火)給食終了 18日(水)お別れ式・2時間授業(5年3時間授業)  
19日(木)卒業式(1~5年臨時休業) 23日(月)・24日(火)3時間授業 25日(水)修了式

### 児童支援担当教諭より

今年度の子どもの様子から、今後の課題だと感じている点が2点あります。

1つめは、「生活リズムを整えること」です。夜更かしによる寝不足や朝食欠食で、学校で集中できず保健室へ来る子が増えています。原因としてゲームやスマホの長時間利用も心配されます。成長期の今、規則正しい生活習慣を身につけることは非常に大切ですので、学校でも継続して指導してまいります。

2つめは、「お金の使い方」です。お金の価値を正しく理解していないことによるトラブルが各学年で発生しています。これらは学校だけの指導では限界があり、ご家庭の協力が不可欠です。ぜひ一度、睡眠やスマホのルール、そしてお金の大切さについて、ご家庭で話し合ってください。

最後に、2月に設定されている「ピンクシャツデー」をご存じでしょうか。ぜひ、ご家庭でお子さんと話題にしてみてください。学校でも何か取り組みができないか考えています。

